

# 田中康夫「民主はみずほ銀」

国民新党と衆院で統一会派を組む新党日本の田中康夫氏が、最近のANAのホテルでの勉強会で興味深い例え話を披露した。

「民主党はみずほ銀行だ。出身別に3派に分かれていて、巨大だけに収益性が悪い」

三菱東京UFJ、三井住友と並ぶ3メガバンクのみずほ銀。内部は興銀(日本興業銀)、富士銀、第一勧銀の3系統に分かれている。田中氏の解説。

「興銀は企業を相手にしてプライドが高く、預金集めなんかしていなかった。富士も三菱と同様に専門意識が強い。東京都の指定銀行も富士だった。これらに比べ、第一勧銀は

地べたをはい回って預金集めをする。宝くじを発行していた」

こう概説して、次の民主党への当てはめ。

「興銀は日本新党も含めたさきかけ系。鳩山、菅、枝野、前原ら。日本の将来を担う意識

と気位を持っている。ただし信賞必罰の意識に欠けている。かつて女性問題でスキャンダルを起した頭取

が辞任しなかった。今回も民主の菅執行部は選挙に惨敗しても責任をとらない」

富士銀はどうか。



4026

「富士銀は組合系、連合系。これも労働貴族で頭が高い」

「これはみずほの中で下働きをさせられている。数だけはいる。小沢グループで私はこれを海兵隊と呼んでいる。さきかけ系が実権をもってやっていたが失敗した。これから第一勧銀グループが出てくる。ただし海兵隊は指揮官がいなくて小沢だ。その意味でも小沢がどう出るかがポイントになる」

さらに田中氏が指摘した。

「日本振興銀の社長になった江上剛も第一勧銀出身だ。総会屋問題でパージされ、作家になった男だ」

田中氏はまた「菅政権はビシー政権だ」と例えた。

「ビシー政権がナチスのかいらいだったように、菅政権は官僚のかいらい。自治労のかいらいでもある」

そして「消費税で成長はない」と説いた。

「いま先進国で日本は唯一のデフレ。欧州はインフレ基調だ。やるべき努力をしないで増税すれば、景気はさらに冷え込む。小沢、亀井、渡辺喜美と私はこの点で一致している」

(政治評論家)

## 3つに分かれ効率悪い